

県下の交通事故(6月26日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
55年	1,768件	65人	2,269人
54年	1,689件	43人	2,241人
比較	+4.7%	+51.2%	+1.2%



第48号

発行所

甲府市丸の内一丁目6-1
財団法人山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552) 37-7827

夏の交通事故防止県民運動

7月10日～8月31日



夏の夜は酒と暴走の事故が多い

安全のために
静岡県の道で、スポーツカーが出合いがしらに自走車をはねた事故があった。事故の現場検証の合間に、いろいろ話を聞いてみると、事故の起こる十分くらい前に、そのスポーツカーは軽自動車に追いつき越されたのだそうである。スポーツカーの運転手の言によると、うしろから追いついてきた車がランプを下ろして警笛を鳴らすので、自分もかなり速く走っていたのに、こんなところで無理やり抜いて行くのはどんなやつかと思つたところ、抜かれてみたら相手は軽自動車であつたというわけである。そのとたん頭へカーッと



安全のために

静岡県の道で、スポーツカーが出合いがしらに自走車をはねた事故があった。事故の現場検証の合間に、いろいろ話を聞いてみると、事故の起こる十分くらい前に、そのスポーツカーは軽自動車に追いつき越されたのだそうである。スポーツカーの運転手の言によると、うしろから追いついてきた車がランプを下ろして警笛を鳴らすので、自分もかなり速く走っていたのに、こんなところで無理やり抜いて行くのはどんなやつかと思つたところ、抜かれてみたら相手は軽自動車であつたというわけである。そのとたん頭へカーッと



習慣にしたいですねシートベルト

運動の重点
一 歩行者、自転車、とくに子どもと老人の事故防止
二 安全運転の確保、とくに過労運転の防止とシートベルトの着用

ゆとりある運転を

最近交通事故が増えています。毎年七、八月は夏休みの解放感やレジャー交通等により、さらに交通事故の多発する時です。この夏の交通事故を防止し、とくに死亡事故の抑止を図る目的で、七月十日から八月三十一日までの間「夏の交通事故防止県民運動」が実施されます。県民総ぐるみによる、正しい交通ルールの実践を習慣づけるようにいたしましょう。県交通安全対策本部が決めたおもな実施事項は次のとおりです。

正しい交通マナーで明るい郷土

- 一 安全運転の確保、とくに過労運転の防止とシートベルトの着用
- 二 二輪車の昼間点灯走行とヘルメットの着用
- 三 夜間における交通事故防止及び飲酒運転の厳禁
- 四 歩行者保護活動の推進
- 五 家庭における交通安全の話し合い
- 六 学校における交通安全指導の徹底
- 七 ことごと老人、母親の交通安全教育の推進
- 八 正しい自転車の乗り方の指導
- 九 安全な遊び場の確保と遊び方の指導
- 十 夜間外出時の明るい衣服の着用及び反射材の携帯

- ① 安全運転の基本走行、安全確認の呼称等の励行
- ② 運転者講習会による安全教育の徹底
- ③ 睡眠不足によるいねむり運転の防止
- ④ ゆとりあるレジャー計画と規制速度内での走行
- ⑤ シートベルト着用指導の徹底
- ⑥ 事業所、職域ぐるみの着用
- ⑦ シートベルト着用推進県民大会の開催

夏の交通安全運動
7月26日から10日間
昭和四十六年以降、連続して減少してきた交通事故死者が、最近全国的に急増傾向にあること、さらに、最近暴走族の動向が著しく活発化、悪質凶暴化していること、今回特別に夏の交通安全運動を実施すること、これを決め、各関係機関に実施の準備を指示しました。実施要綱は交通対策本部で決定されますが、要点は次のとおりです。

- ① 夜間のスピード10%ダウン
- ② 自転車反射器材の整備
- ③ 飲酒運転を許さない運動の徹底
- ④ 飲酒運転をしない話し合いの推進
- ⑤ 酒類提供者の協力体制の強化

得な運転と損な運転(7)
東京大学名誉教授 平尾 収
にも軽自動車に抜き返されたい。そこでもまたよいよ我慢が出来なくなつて、直線に入ったところで、シャニムニ加速してエンジンのパワーにも言葉を返して、もう一度軽自動車を抜き返して、「ザマミロ」と思つてバックミラーに目をつけたら、信号のないうちで自走車を出し合

得な運転と損な運転(7)
東京大学名誉教授 平尾 収
ラどもに決してひけはとらないという気が常にあります。一方、車自慢の人は、とかく自分の車はS140〇が何秒、タイヤも幅の広いスタチールラジアルでコーナリング特性も抜群で、たいていの車に負けることはないという気持を持っている。こういうのが腕自慢、

交通安全 損得論
交通問題研究家であり、自らいつもマイカーを駆っての実践的体論を發表している東京大学名誉教授平尾収氏の「得な運転と損な運転」は、まことに読みごたえをあげているだけに、説得力が強い。

車自慢の特徴なのである。いすれの場合も、勝つたか負けたかというのをいつも気にして走っているのだ。こういう車をちょっとのスキを見つけて抜き返さなければ、必ず次に抜き返さなければならぬのである。スキを突かれたことが、なんともイヤシイのである。そこで、おれの腕は、おれの車はそんなじゃないと、おれはソレとばかり、ソレとばかりを見せつけて見せてくれるわけである。

得な運転と損な運転(7)
東京大学名誉教授 平尾 収
がしらに引っかけたまま、ポツカーに乗っているのに、たかが軽自動車に敵敵らされるように抜かれたままではメンツにかかわるし第一オレの腕が泣くというので、猛然とその軽自動車を追いついて抜き返さなければならぬ。ドライブでちょっと速度を落とすに、またこしやく

得な運転と損な運転(7)
東京大学名誉教授 平尾 収
がしらに引っかけたまま、ポツカーに乗っているのに、たかが軽自動車に敵敵らされるように抜かれたままではメンツにかかわるし第一オレの腕が泣くというので、猛然とその軽自動車を追いついて抜き返さなければならぬ。ドライブでちょっと速度を落とすに、またこしやく

交通安全 損得論
交通問題研究家であり、自らいつもマイカーを駆っての実践的体論を發表している東京大学名誉教授平尾収氏の「得な運転と損な運転」は、まことに読みごたえをあげているだけに、説得力が強い。

県安協定期総会開く

中村会長の再選決定

死亡事故抑止対策を協議

県交通安全協会は、去る五月三十日、古名屋ホテルにおいて、定期総会を開催し、昭和五十四年度の事業並びに決算報告を審議した。

① 運転者教育の充実
② 二輪車・自転車の安全

③ 教育の推進
④ シートベルト、ヘルメット着用普及と徹底
⑤ 効果的な交通安全広報の実施

このあと、任期満了に伴う役員改選を行い、満場一致で中村会長の再選を決めた。高根東小(高根東)副会長の留任と、退任した山本、小林(貞)副会長の後任として、高野慶貴、河西定男両氏の就任を決定した。

なお、専務理事には吉田文男氏、監事には小沢照次、中込太四郎、鈴木要吉



54年度の県安協定期総会



中村太郎会長

の三氏の留任が承認されました。新役員は次のとおりです。

- 【会長】 中村太郎
- 【副会長】 高根東小(高根東) 吉田、小田切(南甲府) 小林英雄(飯沢)、高野慶貴(塩山)、河西定男(甲府)
- 【専務理事】 吉田文男
- 【理事】 宮川正則(垂崎) 堀内益信(長坂) 山本季秋(南甲府) 上田誠(市川) 宮本敬(石和) 角田弘(日下部) 藤野要(大月) 土屋武夫(上野原)
- 【監事】 小沢照次(甲府) 中込太四郎(新日本運輸)
- 【評議員】 鈴木要吉(大月) 荻原茂賀、吉井康三、秋山 登、坂本政幸(甲府) 望月謙一、今井照博(南甲府) 中沢恵(小笠原) 安部吉博(垂崎) 島和明(長坂) 柳沢武史(飯沢) 佐野作太郎(南甲府) 一瀬愛造(市川) 吉原茂男(石和) 鶴田三四郎(塩山) 山口源光(都留) 水口静男、寺田正雄(富士吉田) 富田衛(上原) 金丸平甫(バス協)

高根東小が6連勝

交通安全こども自転車大会

県警本部と県交通安全協会主催の、第十一回交通安全こども自転車大会は、六月一日甲府市立南西中学校で開催されました。この大会は、小学生たちに自転車の交通知識や、正しい安全な乗り方を身につけさせ、こどもの自転車の安全と、交通事故の防止を目的として行われたもので、大会には、県下各地区で開催された予選大会を勝ち抜いた選手が参加しました。



技能コースで真剣に取り組む選手たち



優勝した高根東小チームの選手

- 個人入賞
- 十位 大須成小学校
 - 優 安達善彦(高根東)
 - 準優 安達智彦(高根東)
 - 白倉 豊(高根東)
 - 清水秀一(初狩)
 - 中村久也(若神子)
 - 鷹野秀綱(玉語)
 - 八巻史生(高根東)
 - 石原 歩(高根東)
 - 中村智治(高根東)
 - 原 治(高根東)
- 団体入賞
- 優 高根東小学校B
 - 準優 高根東小学校A
 - 四 大里小学校
 - 同 若神子小学校
 - 五 初狩小学校
 - 六 玉語小学校
 - 七 万沢小学校
 - 八 塩山南小学校
 - 九 加納岩小学校

関東管区表彰に

晴れの交通安全功労者 関東管区交通安全協会連合会(今里広記会長)の定期総会が、五月二十九日、東京・半蔵門会館で開催され、席上、交通安全功労者などの表彰が行われました。本県関係の受賞者は次のとおりです。

- 二輪車指導員を表彰
- 本県では3名受賞
- 優良二輪車安全運転指導員
 - 飯島謙、牛山保(山梨)
 - 小俣友明(富士吉田) 小野秀樹(甲府)

昭和54年度事業報告

- 四月一日 機関紙第四十三号発行
- 四月六日 自転車安全推進委員会、幹事会
- 四月十日、五月二十四日 二輪車安全推進委員会、幹事会
- 五月十一日、二十日 春の全国交通安全運動
- 五月十七日、二十日 秋の全国交通安全運動
- 六月三日 第十回交通安全こども自転車大会
- 六月九日、七月七日 自転車安全推進委員会、幹事会
- 六月二十日 二輪車指導員講習会
- 九月一日 機関紙第四十五号発行
- 九月十日 第十三回交通安全写真コンテスト審査
- 九月十七日 理事会・評議員会合同会議
- 十月十六日 第二十一回県下中学生交通安全大会
- 十月十七日 二輪車指導員講習会
- 十一月五日 交通安全祈願祭、理事会・評議員会合同会議
- 三月十日 機関紙第四十七号発行
- 三月二十八日 理事会・評議員会合同会議



県下一の
広いコースで 早い上達を!

伝統ある当校で
1日も早く免許証を あなたの手へ

財団法人
山梨県交通安全協会経営

公認 山梨自動車学校

八田村野牛島1828 山梨県運転免許センター内
TEL 05528-5-0752

知事が異例の談話

県民総ぐるみで事故防止を



望月幸明知事

山梨県はワースト一位

知事が、交通事故防止の談話を発表するのは、百三十三人の死者を記録した五十一年以来のことです。望月知事は「誠に残念な事態だが、交通死亡事故に歯止めをかけるため、県民協力のもとに、総力を挙げて取り組むことにした」と述べその方法として「正しい交通マナーで明るい郷土」をスローガンに掲げ、

県内の交通事故死者は、今年になってから急増し、六月十三日までに六十二人(前年比五五・〇%)となり、増加率は全国ワースト一位となりました。こうした異常事態に対し望月知事は「県民総ぐるみで交通事故を仰止したい」と県民に向けての異例の談話を発表しました。



交通渋滞の解消に役立つ管制室

知事談話

誠に残念であります。県内の交通事故は、件数、死者数とも昨年同様に比較して増加しており、とくに死者数においては大幅に増加し、このまま推移いたしますと、昨年、二十年ぶりに達成した二ヶ台はおろか、大幅に上回るものが心配されます。こうした事態にかんがみ交通死亡事故多発の現状に

安全五則を守ろう

高速道路運転の心得

高速道路は高速性、広域性、閉鎖性という特色があり、便利さの反面、ひとたび重大事故が発生すると、その影響は高速道路だけにとどまらず、一般道路へも波及し、大きな交通混乱を招くこととなります。このことは、東名高速日本坂トンネルで発生した事故でもおわかりのとおりです。本県の中央道には、全国で二番目に長い笹子トンネルがあり、また、富士吉田線のように、中央分離帯のない変則二車線道路や、急

電話でも情報提供

交通管制センター始動

四月一日、甲府警察署東隣にある県警本部分庁舎に、交通管制センターが完成し、稼働を始めました。ここでは、コンピュータを使い、刻々と変化する交通状況に応じて、信号機や可変標識などを総合的に操作したり、ドライバーに交通情報を知らせ、自動車



相談室

【問】私の過失で相手の車を毀損し、修理費十五万円を支払うよう求められた。格落ちが、相手から「格落ち」の三十万円を支払うよう請求された。この場合「格落ち」も加算して支払わなければならないのでしょうか。

【答】事故により修理した車は、事故にあわない同種同等の車より低く評価されることになり、修理費十五万円は「格落ち」の損害として、加害者は賠償しなければならぬ。賠償額は、専門家の鑑定人または修理工場に依頼して評価してもらうことである。また、格落ちは、その性能が低下したり、また機能は

修理費のほかに、格落ち損も払わなければならないか

損を加算しないよう両方で話し合って解決することもありますが、格落ち損は大破の場合で、中破の場合は格落ちが明らかな場合だけ、小破の場合は修理費で解決してよいと思います。自動車損害賠償の算定は、専門家の鑑定人または修理工場に依頼して評価してもらうことである。

夏休みのこと

夏休みは、この年で最も多い時です。事故で多いのは、道路への飛び出し、車の直前直後の横断、自転車運転中、など、この側にも責任がある事故が増えています。そこで夏休み中のことも、交通事故から守るために、家庭で



交通指導所ではシートベルトのチェックも

高速道路交通安全警察隊がスタート。高速道路交通安全警察隊は、昭和四十四年三月、中央道富士吉田線の開通に伴い、県警本部交通課交通安全隊として、隊員十人で発足し、その後昭和四十六年五月に、交通指導課の付置機関として、高速道路交通安全隊と名称を変更しました。その後、小淵沢一基橋間、大月一勝沼間が延長供用となり、そのつど体制の強化を図ってきましたが、先の昭和一基橋間の供用開始を機会にさらに増員され、四月一日、総員七十五名で独立発隊し、ハイウェイのパトロールや事件、事故などの処理に当たることになりました。

①安全速度の遵守 高速道路の速度は、法定のほかに道路標識によって指定されており、法令無視や他人に対する迷惑など全く考えず暴走し、大事故を起こす例がしばしばあります。道路交通の状況に応じた安全速度を守ることが第一です。

②車間距離の保持 高速道路において重大事故に発展しやすいのは追突事故ですが、その原因は、適正な車間距離を保持していないことです。また、高速道路では十分な車間距離をとらず一団となって走行する特徴があり、とくに夜間はその傾向が強く、このことが追突事故による大惨事を招く原因となっており、走行速度八十キロメートルのときは、最低八十メートルの車間距離が必要で、走行速度にあつた車間距離をとりましょう。

山梨県交通安全協会会員のための災害共済のお奨め

万人は一人のために 一人は万人のために

※ 保険会社の職員が内容説明に伺います。

提供団体 山梨県交通安全協会

引受会社 **協栄生命**

甲府市丸の内三丁目20-3
TEL 0552 (22) 4836(代)



安協の奉仕で建設

昭和9年にオープン



交通協会の手でつくられた昭和初期の試験場 (写真提供 小林 清氏)

この古い写真は、四十五年前の、自動車運転免許試験場の建設風景です。

大正から昭和初期の時代は、まだ自動車がめずらしいときですから、運転免許を取る人も少なく、試験は県庁の庭、舞鶴公園の広場に、のちに飯田町のグラウンドに設けてコースをつくり、技能試験を行っていました。

かつては、当時の県交通協会(現県安協)が、御影村野牛島地内の国有地(御影川、使川、荒川)を払い下げ、協会の人たちが、御影、田之岡両村消防団員の勤労奉仕によって自動車運転免許試験場を建設したものです。

建設費は三万円

試験場は三台の試験車を要し、昭和九年八月一日オープンとなり、県交通協会が管理しました。県協会は、試験車として古物のフォード、シボレー等の三台を購入し、県が試験を行うときにはコース・車両とも無償で提供するとともに、一般に対しても練習の便宜を与えていました。

当時の試験官は、山田毅、藤巻良蔵、小林利家の三氏でした。(小林利家氏の話)

技術員養成所は、その後昭和十七年に至り、軍部の要請により自動車の運転教習所として、県交通協会がここに「県自動車運転技術員養成所」を開設しました。

これが、本県における運転教習施設の創始であり、梨自動車学校に至っております。養成所は、昭和三十年に名称を山梨自動車教習所に改称し、さらに、昭和三十三年に県公安委員会として、現在のように名実共に認められるようになった。



現在の運転免許センター 毎日人と車の出入りが多い

運転者の適正検査

新型「シミュレーター」の利用を

運転免許課では、最新式の診断用模擬運転装置を四月から使用しています。運転者の適正検査で、威力を発揮すると思われ、各事業所等の安全運転管理者や、個人的診断希望者のご利用をお待ちしております。

この装置は、受検者の安全運転意識のあり方、運転技術の習得等を自動的に診断評価して検査結果を出します。最も指摘の多い項目に対応した解説を、個々にビデオによって放映したり、

さらに診断結果が即時コンピュータにより個人別にプリントされ、今後の運転に注意すべき点について、この写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

あなたも写真を

第14回交通安全写真コンテスト募集要綱

交通安全教育、交通施設、交通安全運動、その他交通安全活動の状況等

昭和五十五年九月月上旬

審査員

主催者、後援者の委員および主催者の委嘱する写真専門家

賞

昭和五十五年九月月上旬

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、

シートベルトの唄

宮野 貢 作詞
清水吾郎 作曲

シートベルトの唄

宮野 貢 作詞
清水吾郎 作曲

推薦/財団法人山梨県交通安全協会・山梨県交通安全母の会連合会

歌謡

シートベルトの唄

宮野 貢 作詞
清水吾郎 作曲

自動車運転 免許証
受けたあの日の あの時の
気持ち気構え いつまでも
シートベルトも 忘れまい

事故や災害 身の危険
いつまでも つきまとう
そんな気持ちで いつまでも
シートベルトを 忘れまい

金じゃ買えない 免許証
人や我が身も おなじこと
気持ち気構え いつまでも
シートベルトも 忘れまい

このほど日刊自動車新聞山梨支局長松井 清氏が県安協を訪ね、十万円を寄附しました。

同紙は自動車関係の日刊専門紙として昭和四年創刊、昨年、創刊五十年を迎え、また、山梨支局も同時に開設十年を迎えたのを記念して寄附したものです。

県安協では、同社のご厚意に感謝するとともに、寄附金はドライバーの意識高揚を図るために役立てることにしました。

新規購入
映画の紹介

山梨県交通安全協会では、新しく次の映画を購入しました。無料でお貸しいたします。ご利用ください。

一 母の悲しみ
交通事故で愛児を亡くした母親の手記。16ミリ、カラー、30分、母親向。

二 お母さんここに問題が
16ミリ、カラー、25分、母親向。

この映画は、幼児のとび出し、横断中の不注意、路上遊戯中の事故事例を分析し、お母さんたちに、幼児の交通安全に取り組みよう強く訴えています。

交通安全の写真を撮影して、交通安全問題に対する理解と関心を高めることにこの写真を用いて展示を公開するほか、ホスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため、